

「訪問看護ステーションにし」を開設しました！

平成24年5月1日に、横浜市西区に協会としては初めてとなる、医療系サービスを提供する訪問看護事業所「横浜市福祉サービス協会 訪問看護ステーションにし」を開設しました。

「訪問看護」サービスは、病気や障害のある方が、ご自宅で安心して療養生活を送ることができるように、ご自宅に訪問看護師等医療系スタッフが伺いし、看護サービス^(※)を提供します。

ご本人、ご家族の意思やライフスタイルを尊重して、療養生活の質が向上するよう予防的支援から看取りまでを支えます。訪問看護師が、主治医、ケアマネジャー、状況に応じて他の在宅サービス等と連携して、療養生活を支援します。

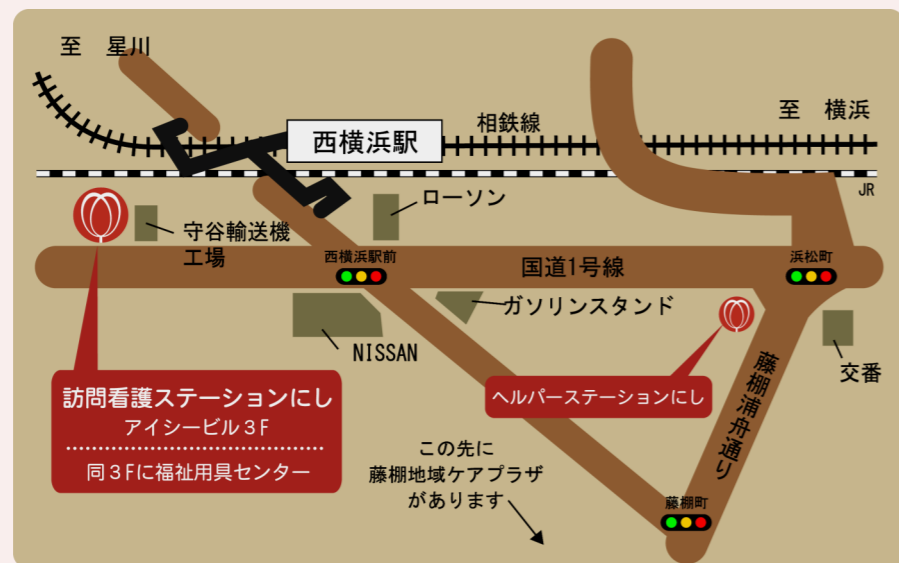
(※) 主なサービス内容

- 病状・障害の観察
- 清拭・洗髪等による清潔の保持
- 食事および排泄等
- 日常生活の世話
- 床ずれの予防・処置
- リハビリテーション
- ターミナルケア
- 認知症の看護
- 療養生活や介護方法の指導
- カテーテル等の管理
- その他医師の指示による医療処置

<横浜市福祉サービス協会 訪問看護ステーションにし>

住所 〒220-0061 横浜市西区久保町1-20 アイシービル3階
電話番号 045 (260) 6477
FAX 045 (250) 4322
営業日 月曜日から金曜日まで (土曜日・日曜日・祝日・年末年始は休業)
営業時間 午前8時45分から午後5時15分まで
※緊急時等、24時間連絡体制を確保しています。

所在地図



お問合せ先 サービスのご利用希望は担当ケアマネジャーへ、内容についてご不明な点は訪問看護ステーションにしへ、お気軽にお問い合せください。

知って楽になる介護の話 第14回 ～ 移乗編⑥ ～

今まで、人の自然な動きとその動きに沿った介助方法をご紹介してきましたが、今回でついに最終回となります。最終回は、ベッドから車いすなどへ移乗するときに、スライディングシートという福祉用具を活用した移乗介助の方法をご紹介します。以前、スライディングボードでの移乗方法をご紹介しましたが、そのシート編です。



① 上半身を少し傾け、お尻(坐骨)の下に、スライディングシートを入れます。
② ベッドと椅子に、またがるように、シートを敷きます。
③ 移動する方向へ身体を少し倒します。



④ 骨盤を横から押します。お尻は持ち上げません。
⑤ シートの上を滑らせて、椅子へ移乗します。
⑥ 椅子に深く座れるようにお尻を後ろに押します。



⑦ 深く座れました。

シートを滑らせて、水平方向へ移乗する方法は、介護される方、介護する方双方にとって体への負担が少ない方法です。ただ、実際に今までの介助方法を変えようと思っても、写真のようにスムーズに運ぶとは限りません。また、使用したことのない福祉用具を、その機能を最大限に活用して介助するには、専門職のアドバイスが有効になります。

今までご紹介した介助方法を知りたい、実際にこのような介護を受けてみたいという方は、当協会の職員

— 5月からご意見・ご要望等をお寄せいただくお電話の受付時間が変わりました —

「お客様相談室」 0120-701-782
「ほっとライン(介護者のための相談電話)」 045-450-3194

★受付は年末年始・祝祭日を除く 月曜～金曜 8:45～12:00 13:00～17:15